

福岡の有名店 料理宅配 オイシックスと提携

21年には全国発送

サイト開設に先駆けて、コラボ弁当の宅配を始めた（1日、福岡市）



サイトでは地酒や調味料など九州の食材も扱う。専門店など数十社が参加する見通し。本稼働後、3億〜5億円の売り上げを目指す。

今月7日には、秋をテーマにした和洋中7店の8品を楽しめるコラボ弁当の宅配を始めた。弁当の価格は2〜4人前で1万9440円（配達料込み）。

「焼きとりの八兵衛」やイタリアンの「ダフチガミ」、洋菓子店の「チヨコレートショップ」などが参加。冷めた状態でもおいしく食べられるよう、調理法などを工夫した。

IMDの麻生宏最高経営責任者（CEO）によると、高級店はコロナの影響で企業の接待利用が減少している。ただ大手の宅配代行サービスを利用すると、店のブランドイメージを毀損する懸念があった。

IMDは新型コロナウイルス感染拡大の前から、高価格帯弁当を手がけ、自社スタッフがバイクで宅配している。「ダフチガミ博多」の洲上兼督オーナーシェフは「運ぶ人の顔が見えるのは安心」と話す。

（西部支社 今堀祥和）

各店が宅配用メニューを開発して、「博多回回」のサイトを通じて販売する。

まず福岡市内で配送する。2021年には全国発送に対応する予定で、料理を冷凍して配送していく。

冷凍の過程で味や食感が損なわれないという「プロトン冷凍」と呼ばれる技術を使った冷凍機を導入する。国の補助金も活用し、システムや冷凍機に数千万円投資する。

システム開発のカラヒナテクノロジ（福岡市）と組み、「博多回回、（はかたかいかい）」と名付けた料理の宅配や食関連商品の通販サービスを展開する。

「西中洲 星期菜」や「九州の旬 博多廊」などIMDが運営するレストランのほか、洋菓子の「チヨコレートショップ」、「焼きとりの八兵衛」、イタリアンの「ダフチガミ博多」、フレッチの「Sola」など7店が参加する。

福岡市で飲食店を展開するIMDアライアンス（同市）は食料品宅配大手のオイシックス・ラ・大地系と組み、12月をめぐりに高級感を打ち出した料理宅配サービスを本格展開する。福岡の有名レストランが参加し、独自メニューやコラボ弁当を開発する。新型コロナウイルス禍で外食需要が落ち込むなか、店のブランドイメージを守りつつ、集まり需要取り込みを目指す。

オイシックス子会社で